

SOYO

junior high school

 相洋中学校

School Guide 2025



次の社会で 生き生きと活躍することが できる力を育む

時は刻々と流れ、社会は常に変化を続けていきます。しかし、時代がどのように変化しても強く逞しく生きていくことが求められます。

本校が中学・高校の6年間で大切にしていることは、校訓の「質実剛健 勤勉努力」のもとで、これまで育まれてきた先人たちの文化を学び、社会がどのように変化しても、どのような国の人々に関わっていくときでも、自分たちの文化に誇りを持って語り、自ら判断して行動することができる力を養うことです。

本校の6年間で学習をし、より良い経験・体験を積んでいくことで、次の社会で生き生きと活躍することが出来る力が育まれていきます。





今。この時だから 身につけたいこと 身につけてほしいこと

相洋中学の理念を表す3つ柱

6年後のゴールは、大学進学だけではありません。受験勉強だけにこだわらず、社会へ飛び出したときに生き生きと輝き、自身のパフォーマンスを十分に発揮できるのが重要です。本校での様々な体験が、一人ひとりの個性や実力を伸ばし、人間力を高めていきます。

本校では、キャリア教育・グローバル教育・心の教育を3つの教育の柱とし、より多くの生徒に活躍の場を与え、一人ひとりが輝くステージを用意しています。



Coexist & Cooperate



Career Education



キャリア教育

Career Education

大学進学だけをゴールとせず

その先の社会で生き生きと活躍できる力を育む

これからは、自身のパフォーマンスが十分に発揮される生き方が出来るかどうかが大切になります。本校のキャリア教育は、中学の段階で自己分析により自分の個性を知り、職業調査や職業インタビューを通して職種や仕事の内容を知っていきます。高校ではより具体的に、学部学科調査や講演会で自分の適性を判断し、進路を決めていきます。大学名による進路選択ではなく、各自が夢に近づく学びができるのは、どこの大学なのかを熟考し、本当に好きな道に進むことができるように全力でサポートしていきます。



グローバル教育

Global + Local

世界を知る・自国の伝統文化に誇りを持つ

グローバル＋ローカル

～歴史と伝統の宝庫、小田原から世界へ～

グローバル化が加速する社会において、単に「英語が話せる」だけでは活躍はできません。まずローカルな視点、つまり自分の生まれ育った地域や日本の歴史・文化を深く理解し、発信できる力が必要です。その力を身につけ、更に他国の言語や文化、社会問題にも目を向けていくグローバルな視点を持つことで、より良いコミュニケーションを取ることができるのです。まずは学校のある地元小田原の歴史と伝統を深く学び、その知識や経験を活かして世界へと視野を広げていきます。



心の教育

共存・協力

人と人とのかかわりを大切に

未来を生き抜く力となる

私たちは、必ずしも“正解と成功”を求めなくてもよいのではないかと考えます。それは、その過程にある多くの“間違いと失敗”を経験させ、仲間たちとともにどのように問題を解決できるのかを考える力が重要であると考えからです。そのために中学・高校時代にどれだけの経験を積むことができるかが鍵となります。IT化が進み、人と人とのつながりが希薄になりつつある世の中で、本校では心の教育に注目し、出会った仲間との心のつながりを大切にしています。



Global + Local

受験で途切れない。 6年間だからできる学習計画

■キャリア教育の礎となる教育課程



主体的な学びを育む充実した 『相洋の授業』

どの授業でも生徒が興味・関心を持てるように工夫された授業が展開されています。講義形式の授業だけでなく、グループワーク形式の授業も多く取り入れて、生徒同士が学び合える環境が整備されています。また、ICT教材も活用してより学びが深くなるような工夫をし、生徒は新たな気づきや発見をして理解を深めていきます。さらに、数学と英語は中学2年から習熟度別クラスとなり、よりきめ細かい指導が行われ、国語と数学では第2期に入ると高校の内容を先取りした学習を行っています。

試験ごとに行われる 『対策』と『振り返り』

本校では年間5回の定期試験に加えて春と秋に実力試験、夏と冬に課題試験が行われています。また、中学の段階で3級以上の合格を目標とした漢字検定と英語検定に取り組み、高校ではそれぞれの進路に合わせて模擬試験に取り組んでいます。そのたびに行われる対策の授業や結果返却時に行う振り返りがとても充実しています。特に定期試験では、「やればできる!」を合い言葉にし、学力の定着が不十分な生徒に対しては追試や補習を徹底的に行っています。分からないことをそのままにせず、自信をつけて次へとステップアップしていきます。

第1期

基礎学力の充実

第1期は、中学1年生から中学3年生の前半までの2年半です。学習習慣の確立を第一に考え、授業はもちろんのこと、課題の提出に関しても授業担当と担任が連携を取りながら、家庭学習の習慣を身につけていきます。



中1

Junior high school 1st grade

中2

Junior high school 2nd grade

中3

Curriculum

Junior high school

教科	標準単位	1年	2年	3年
国語	4・4・3	5	5	5
社会	3・3・4	4	4	4
数学	4・3・4	5	5	5
理科	3・4・4	4	4	4
音楽	1・3・1・1	1	1	1
美術	1・3・1・1	1	1	1
保健体育	3・3・3	3	3	3
技術・家庭	2・2・1	2	2	2
英語	4・4・4	5	5	5
道徳	1・1・1	1	1	1
特別活動	1・1・1	1	1	1
総合学習	1・4・2・2	1	1	1
履修単位 合計		33	33	33

High school

教科	科目
国語	現代の国語
	言語文化
	論理国語
	文学国語
	古典探究
	国語特講Ⅰ(現代文)
地歴	国語特講Ⅱ(現・古・漢)
	地理総合
	歴史総合
	日本史探究
	世界史探究
	日本史特講Ⅰ
公民	日本史特講Ⅱ
	世界史特講Ⅰ
	世界史特講Ⅱ
	公共
	数学Ⅰ
	数学Ⅱ
数学	数学Ⅲ
	数学A
	数学B
	数学C
	数学特講Ⅰ
	数学特講Ⅱ
	数学特講Ⅲ

Step Jump

第2期

学力の伸長発展

第2期は、中学3年生後半から高校2年生までの2年半です。学部学科調査や大学見学を通して自らの将来設計を行い、目標を具体化していきます。それぞれの進路に応じたカリキュラムの選択を行い、主体的に学習に向かっていきます。

第3期

大学進学準備

第3期の高校3年生の1年間は、大学受験の壁を突破するために演習科目を中心に学習していきます。進路講演会や大学相談会を開き、最新の情報を提供した上で、模擬試験の結果などを踏まえてそれぞれに応じた的確な進路指導をしていきます。

Junior high school 3rd grade

高1

High school 1st grade

高2

High school 2nd grade

高3

High school 3rd grade

	標準 単位	1年	2年		3年	
			理系	文系	理系	文系
	2	2				
	2	2				
	4		2	2	2	2
	4			4		
	4			2		2
					4	
					2	
	2	2				
	3	2		3		
	3			3		
	3					4
						3
						3
	2		2	2		
	3	3				
	4		4	4		
	3				4	
	2	2				
	2		2	2		
	2				3	
					3	
					4	
					2	2

教科	科 目	標準 単位	1年	2年		3年	
				理系	文系	理系	文系
理科	化学基礎	2	2				
	化学	4		3			
	物理基礎	2		2			
	物理	4		3			
	生物基礎	2	2				
	生物	4		3	3		
	地学基礎	2		2			
	化学特講Ⅰ					4	
	化学特講Ⅱ					4	
	物理特講Ⅰ					4	
	物理特講Ⅱ					4	
	生物特講Ⅰ					4	
	生物特講Ⅱ					4	
	体育	7～8	2	2	2	3	3
	保健	2	1	1	1		
芸術	音楽Ⅰ	2		2	2		
	美術Ⅰ	2		2	2		
	書道Ⅰ	2		2	2		
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3				
	英語コミュニケーションⅡ	4		4	4		
	英語コミュニケーションⅢ	4				4	4
	論理・表現Ⅰ	2	2				
	論理・表現Ⅱ	2		2	2		
	論理・表現Ⅲ	2				2	2
	英語特講Ⅰ	2					2
家庭科	家庭基礎	2	2				
情報	情報Ⅰ	2	2				
	総 合	3～6	1	1	1	1	1
特活	L H R		1	1	1	1	1
履修単位 合計			31	31	31	30	30

少人数である利点を活かした 特徴ある授業内容



キャリア教育・
グローバル教育を
充実させる特別授業



オンライン英会話

中学2・3年生では英語の授業の一環として、オンライン英会話に取り組んでいます。フィリピンのセブ島にいる講師とオンラインでつなぎ、マンツーマンでの30分間の英語漬けのレッスンを行っています。最初は緊張して声も小さく、ただぎこちない笑顔でほほ笑むしかできなかった生徒たちも、回数を重ねるごとに自信を深め、3学期には教室中に元気な英語と笑い声が響くようになります。講師陣も研修を終えた有資格者であり、生徒のモチベーションを高めながら、発音の矯正などもしてくれます。カリキュラムも相洋の授業に合わせてオリジナルに編集され、普段の英語の授業の実践の場としても活用できます。このレッスンでは、英語を苦手としている生徒も積極的に取り組んでいます。また、英検の2次試験の対策にも効果的で、オンライン英会話を導入してからは2次試験で不合格になる生徒はほとんどいません。

オンライン英会話を始めた頃は、相手の言っていることが分からないし、言いたいことはあるのだけどう英語で言ったらよいか分からずに沈黙する時間が多かったのです。しかし、回数を重ねるごとに理解できる内容も増え、適切な応答ができるようになりました。間違えても先生が上手に直してくれ、自信を失わずに英語を使うことができます。明るい人が多く、大きなリアクションをしてくれるので、私も普段とは違う自分で英会話に臨むことができています。

現役生
の声
Voices



エナジード



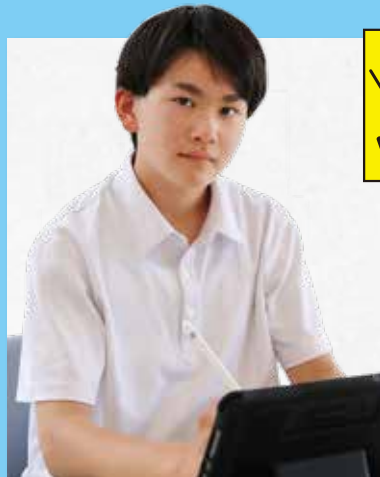
高校ではキャリア教育の一環としてエナジードという教材に取り組んでいます。生徒たちは学校生活やその先の

人生において正解のない問いへの挑戦が続くことでしょう。エナジードではそういった問いに対応していく方法を学びます。それと同時に、自分の考えを整理し、表現する力を育んでいきます。これからの教育では、教えられた正解を暗記して、正確に答えられれば評価されるというわけではありません。エナジードの授業を通して生徒たちは自分の進路を探究し、自己を表現する力を身につけ、仲間と協同して学び、正解のない問いへと挑んでいきます。

ロイロノート



iPadを全員に購入してもらい、活用しています。ただし、1年生は4月からではなく、仲間との人間関係が構築され、学校生活にも慣れてきた6月から導入します。これは私たちの経験から、入学したての1年生はスマホを介したトラブルが頻発し、慣れないIT機器の危険性や有効性をしっかりと理解したうえで導入した方が効果的であると判断するからです。授業ではロイロノートというアプリを使い、インターネットを通じて教員と生徒、そして生徒同士が常に情報共有しながら授業を展開しています。プレゼンの資料作成にも有効で、紙媒体では時間のかかる作業を簡単に行うことができます。



現役生の声 Voices

ロイロノートを使うことにより、授業中に配布されたプリントを何枚もiPadにコピーして繰り返し問題を解くことができます。Appleペンシルを使えばノートの代わりにもなります。また、授業ではクラスみんなの解答や意見を共有する機能をよく使っています。いろいろな人の視点で物事を見ることで、より広い視野が身につき、理解が深まることを実感しています。ペーパーレスになり、SDGsのことも考えた、現代にマッチしたとても便利な学習アプリだと思います。

生徒のやる気や努力に 応える・支える

自主学習の支援 放課後講座 SSシリーズ



放課後講座

検定試験・定期試験対策

中学放課後講座

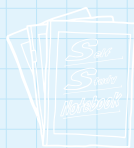
中学の部活動は、大会前などを除いて毎週水曜日が休みになります。その時間を有効活用させるべく始まったのが『中学放課後講座』です。英語検定や数学検定対策講座を設け、生徒たちを支援しています。また、定期試験が近づくと5教科の教員が控える質問室を設け、気軽に先生たちに質問ができると、とても好評を得ています。

高校への橋渡し

KOMINEゼミ

運動部の大会が落ち着いた中学3年生の2学期からは国語・数学・英語のKOMINEゼミが始まります。内容は実力試験に向けた対策や大学入試問題にもチャレンジするなどレベルの高いものです。高校受験に縛られることのない中高一貫校だからその取り組みです。

SS シリーズ



PDCAサイクル

SSファイル

生徒たちは年5回の定期試験を軸に学習計画を立て、それを実行していきます。本校ではその取り組みを振り返ることを大切にし、教員が次回に生かせるようなフォローをして

いきます。こうすることにより、P(計画)、D(実行)、C(振り返り)、A(改善)サイクルが確立し、より自発的な学習へと生徒は向かっていきます。毎回の計画や反省をまとめ、結果とともに保管して成長を実感してもらうのがSSファイルの役割です。

アクティブな家庭学習

SSノート

本校では宿題とは別に、SSノートに取り組んでいます。SSとは"Self Study"の略で、自学自習のためのノートです。何をどのようにどのくらい勉強するかは生徒に任せられ、自発的

希望の進路に近づくための

放課後オープン講座

大学受験に向け、毎日放課後に本校の教員によるオープン講座が開催されます。高校1年生向けの普段の授業の補習講座から、一般受験に向けた演習中心の実践的な講座、英語検定試験対策講座もあります。中学生も参加できるものもあり、高校生と机を並べながらお互い良い刺激を受け合い、切磋琢磨しています。

現役生の声 Voices

私は**SSノート**を、普段は授業の予習・復習、そして漢字や英単語、計算練習に、テスト前はまとめのノートとして活用しています。毎日努力を重ね、1年間で40冊以上終わらせることができました。重ねたノートを見るたびに、「自分はこれだけ勉強してきたんだ」と自信を持つことができます。**SSダイアリー**には毎日その日にしたことを日記のように書き込むようにしています。また、テスト前は学習予定や振り返りにも活用しています。提出すると先生がコメントをくれ、その感想がとてもうれしくてたくさん書いてしまいます。



な学習を手助けするノートです。漢字や英単語、計算の練習、授業ノートのまとめや問題の解きなおし、検定試験対策など、一人ひとりが自分の課題を考えながらコツコツと取り組んでいます。そうして積み重ねたノートが生徒の自信につながるのです。

教師と生徒の橋渡し

SSダイアリー

より良い学校生活を送るには、教師と生徒の信頼関係が非常に大切になってきます。生徒が何を考えているかを感じとり、何が起きているかを把握することで適切なアドバイスが

できます。生徒は毎日の出来事をSSダイアリーに綴り、教師は定期的にチェックをしていきます。何気ない意見の交換や教室では話せないような相談など、ダイアリーのやり取りを通してお互いを知ることができ、教師と生徒の関係はより深まっていきます。

学習支援ルーム

SSルーム

放課後に自習ができる部屋です。下校時間まで毎日職員が常駐し、質問も受けます。授業で生じた疑問もその日のうちにしっかりと解決して次の日に備えることができます。



*Coexist &
Cooperate*

学習の発表

心の教育
共存・協力

本校では、自分を表現する場を多く設けています。その中核をなすのが、中学生全員で行う主張発表です。自分の夢や日々の生活で感じる疑問、また社会的な問題などを意識的にとらえ、原稿用紙4枚に主張作文を書きあげます。各生徒は、その原稿を基に国語の授業で教壇からの1分間スピーチを行い、クラスメイトが発表の姿勢と内容を評価します。その後クラスの代表者を選出し、中学全体の主張発表会へと発展していきます。この他にも英語の授業でのスピーチや、毎日のホームルームでの日直の1分間スピーチなど、様々な場面で発表の機会を設け、生徒は人前で話す自信をつけていきます。

文化祭の発表

心の教育
共存・協力

授業外の活動でも自分を表現する場が多く用意されています。9月に行われる文化祭では有志のグループによる音楽やダンスの発表があり、大変盛り上がります。また、クラス全員で協力してシナリオ作りから衣装、音響、演出までをこなす演劇やステージ発表では、授業では見ることでできないような一面を垣間見ることができます。さらに学級や学年行事でも臆することなく堂々と人前に立ち、自分を表現していきます。こうした場を通してお互いを認め合える関係を築き、自己肯定感を高めていきます。



ディスカバリーキャンプ

心の教育
共存・協力

中学2年の夏には教室を離れ、クラスの仲間とアイデアを出し合い与えられた課題をクリアしていく、ディスカバリーキャンプに挑戦します。すべての課題が仲間と協力しないとクリアできないもので、上手くいかないと自然と衝突が生まれます。しかし話し合いを重ねることで気持ちを一つにしていき、何度も挑戦してクリアできた時の喜びは、仲間との団結を強固してくれます。このような活動を通し、生徒たちは今まで知らなかった自分の内面や仲間の本当の姿をディスカバリー（発見）していきます。

キャンパスツアー

キャリア教育
Career Education

本校のキャリア教育のゴールは難関大学に入学することではありません。自分の適性に合い、自分の才能が一番生かせる道を見つけることにあります。そのために必要なのは視野を広げておくことです。従来は高校生が頻繁に行っていた大学のキャンパスツアーに、本校では中学生の段階から出かけていきます。興味を持った分野に直接触れ、話を聞かせてもらうことで新たな発見があるかもしれません。



経験・実践・挑戦
そのチャンスがあります





TGG 英語研修

グローバル教育
Global + Local



普段の英語の授業で学んだことの実践の場として、中学1・2年生はTGG(Tokyo Global Gateway)に1日英語研修に行きます。空港やレストラン、ショップや薬局、そして飛行機の機内など、本物さながらの施設でネイティブの先生とグループに分かれてオールイングリッシュの体験学習を行います。先生方のエネルギッシュな指導により、生徒たちが英語を使って積極的にコミュニケーションをとる姿が見られます。

春期英語宿泊研修

グローバル教育
Global + Local



中学校の春休みに、希望者を対象として福島県にある英語研修施設のブリティッシュヒルズにて英語漬けの3日間を過ごすプログラムです。授業はもちろん、フリータイムや食事、買い物などの生活の全てを英語で行います。予定や時間割も英語で書かれたスケジュール表を自分で確認しないと誰も教えてくれません。引率の先生とのやりとりも英語で行い、まさに国内にいながら留学体験ができます。最終日を迎える頃には何気ない一言も無意識に英語を使っている自分に驚くはずです。



ニュージーランドターム留学

グローバル教育
Global + Local



中学3年生3学期の約2か月間、ニュージーランドの中学校に編入し、現地の授業や文化を肌で感じることでできるホームステイプログラムです。現地の中学校に編入するため、ただ授業を受けるだけでなく、運動会や文化祭などの学校行事にも参加できます。そのための準備として、相洋でも7月から毎月勉強会を重ねて準備をしていきます。長い研修を終えて帰国した生徒は、英語力が身につくことはもちろん、親元を離れて生活することで、自立し成長した姿を見せてくれます。



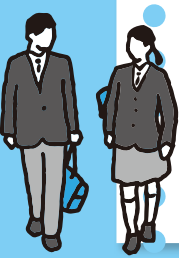
カナダ語学研修

グローバル教育
Global + Local



高校では、夏休みの3週間、語学のみならず、国際的視野と感覚を身につけるために高校生の希望者を対象にカナダ語学研修を行っています。ホームステイをしながら、ブリティッシュコロンビア州にあるカムソン大学国際教育学部が行う相洋生のために組まれた特別プログラムの授業を受けます。午後にはフィールドワークやアクティビティーに参加し、週末はホストファミリーとキャンプや観光など様々な活動をしていきます。これらの体験を通して生徒たちは英語の上達に加え、精神的にも逞しくなって帰ってきます。高校生の時期に親元を離れて異国での暮らしを経験することで、グローバルな視点を持つことはもちろん、日本の良さや親のありがたみも再認識できます。

Global + Local



友人・先輩、関わってくれる 全ての人から学ぶチャンス



心を育てる。
自分を表現する。



部活動

部活動では、目的を同じくする先輩・後輩がともに活動する中で、礼節や努力する喜び、一つのものを作り上げる達成感などを味わうことができます。こうした仲間との関わりは、自立のための第一歩となります。

本校では中学生全員がいずれかの部活動に所属し、活動することになっています。

高校生でも、1年生は全員必修で部活動に参加し、2・3年生はそれぞれの進路に合わせて各自で継続するかどうかを選択できるようにしています。

Club activities

中学クラブ一覧

陸上部	ソフトテニス部	美術部
柔道部	バスケットボール部(女)	写真部
剣道部		理科部
空手道部		音楽部
サッカー部		和太鼓部

高校クラブ一覧

野球部	山岳部	茶華道部
ソフトテニス部	弓道部	社会福祉部
卓球部	ソフトボール部(男)	英語部
バレーボール部	チアダンス部	社会部
バスケットボール部		軽音楽部
陸上部	理科部	演劇部
サッカー部	写真部	インターアクト部
女子サッカー部	パソコン部	コーラス部
水泳部	美術部	和太鼓部
剣道部	吹奏楽部	鉄道研究部
柔道部	文芸部	食物研究部
空手道部	書道部	生徒会行事研究部

SOYO LIFE

年間行事



学級懇談会(高)
中間試験
進路講演会(保護者)
進学相談会(高3)

期末試験
三者面談(中・高)
ディスカバリー
キャンプ研究(中2)
学習合宿(中3・高)
カナダ語学研修(高希望者)

文化祭(中・高)
主張発表会(中)
校外清掃活動(中)
体育祭(高)
第2回学力推移調査(中)
ときめき国際学校

進路説明会(中3保護者)
進路講演会(中3)
音楽会(中)
学級懇談会(高)

英語検定・漢字検定
ニュージーランドタム留学
(中3希望者)

学年末試験
3年生を送る会(中)
卒業証書授与式
防災学習(中)
TOKYO GLOBAL GATEWAY(中)
大学受験報告会(高1・2)
ブリティッシュヒルズ(中)

4

April

5

May

6

June

7

July

8

August

9

September

10

October

11

November

12

December

1

January

2

February

3

March

入学式・対面式
宿泊研修(中1)
校外地域学習(中2・3)
オリエンテーション(中1・高1)
第1回学力推移調査(中)
スタディーサポート(高)
学級懇談会・授業参観(中)

運動会(中)
英語検定・漢字検定
大学合格結果報告会(保護者)
夢ナビ(高1)
大学見学(高2)
チャリティーコンサート

夏期講習(中・高)
イングリッシュシャワー
(中希望者)
夏期課題試験(中)
スタディーサポート(高)
校内統一試験(高3)

中間試験
地域研究旅行(中3)
地域研修旅行(高2)
芸術鑑賞(中1・2)
芸術鑑賞(高1)
遠足(高3)
英語検定・漢字検定

期末試験
三者面談(中・高)
芸術鑑賞(高)
クラブ対抗駅伝大会(中)

校内書初め展(中)
職場体験(中2)
授業参観(中)
学級懇談会(中・高)
進学説明会(中3)
小峰会講演会(中)
球技大会(中)



SOYO TEACHERS

教員からのメッセージ



国語科 勝俣芽映

国語はすべての学習活動の基礎である「言葉」を学ぶ教科です。優れた文学作品や美しい日本語に触れることで確かな言語能力、豊かな表現力を育成します。課題の取り組みにも重点を置き、「継続は力なり」をモットーとした指導を実践します。



社会科 森田 康弘

「暗記が苦手なので社会は嫌い」という人がいますが、社会は暗記教科ではありません。好きなことは暗記しようとせずとも自然と記憶に残るものです。「社会」＝「面白い」＝「好き」になるように楽しく学べる授業を心がけています。



数学科 田島和幸

数学の答えは1つですが、その答えにたどりつくプロセスは様々です。生徒の言葉や発想を大切にしながら問題解決の方法を探り、意見交換しながら学び合える環境の中で、生徒は主体的にのびのびと学習に励むことができています。



理科 谷藤圭悟

理科で重要なことは自然界の現象に興味を持つことと、興味を持った内容についてよく考えることです。考える楽しさを知ったときが理科が好きになる瞬間であり、そのような機会をみなさんと発見していきたいと思っています。



音楽科 有泉香里

音楽は「表現力を養う」教科です。授業を通して一人で表現する力、仲間と協力して表現する力を育みます。さらに自分を表現する楽しさに気づき、社会で活躍できる自信を身につけられる指導を目指します。



美術科 石川茉奈

美術はモノを作るだけではありません。人々が「あ、これいいな」と感じたものを思わずカメラに収めるように、様々なものの形や色彩などから、よさや美しさなどを感じ取る造形的な視点を養うことも目標の一つです。制作活動や作品の鑑賞を通して、社会や生活を美しく彩る美術の働きについて考えます。そして、美術を手段とし、社会と豊かに関わっていくための能力を身につけていきます。



保健体育科 伊藤善彦

「運動が好きだから、クラスの仲間と運動の持つ喜びを共感したい。」その気持ちから生まれる「協力」「支える」「思いやる」という、他者に対して働きかける行動を大切に授業を行っています。そして、運動を通じて身体と心を鍛え社会で活躍できる人間形成を目標に指導しています。



家庭科 佐々木華子

効率や経済性を優先した便利な物が手に入る時代になりましたが、その便利さだけに頼らずに生きる力を養います。実習や実験を多く取り入れ、体と五感を使って物事を理解し、気づく事、考える事を大切にしながら確かな技術を身につけます。



英語科 久谷航平

英語はもちろん教科の1つですが、同時にコミュニケーションツールでもあるのです。授業では様々な活動を通してこの英語というツールを使いこなし、相手を理解し自分を表現できるような自信をつけていきます。



How do you spend your Weekday ?

相洋生の日

中学1年生 女子 写真部

Schedule
[6:30] 起床
[7:30] 自宅出発
[8:35] 学校到着・朝学習

[8:50 ~ 15:30] During classtime...

[15:30] 下校	部活
習い事	[17:00] 下校
[18:30] 自宅到着	[18:00] 自宅到着
夕食・フリータイム	夕食・フリータイム
宿題・SSノート	宿題・SSノート
入浴	
就寝・睡眠	

中学3年生 男子 サッカー部

Time	Schedule
6:00	[6:30] 起床
7:00	[7:30] 自宅出発
8:00	[8:35] 学校到着・朝学習

16:00
17:00
18:00
19:00
20:00
21:00
22:00
23:00

[18:00] 下校	部活
[19:00] 自宅到着	
夕食・フリータイム	夕食・フリータイム
宿題・SSノート	宿題・SSノート
入浴	
就寝・睡眠	

入学した時は同じ小学校の生徒が少なく、とても不安でしたが、宿泊研修や学校行事を通して仲良くなり、今ではたくさんの友だちができて毎日楽しい学校生活を送っています。部活はカメラに興味があったので写真部に入りました。毎日活動があるわけではないので、放課後は家で好きなことをして過ごしたり、SSノートを使って授業の復習をしてゆっくり過ごしています。小学校の時よりも毎日机に向かう習慣ができました。



Model case. 1



私はサッカー部のキャプテンをしています。部員たちをまとめるのは大変ですが、みんなが集中して練習できたり、良い試合ができたりますとその苦勞も吹き飛びます。練習して家に帰るとクタクタですが、授業の復習と宿題だけは毎日必ずやるようにしています。通学にも少し時間がかかりますが、本を読んだり単語を覚えたりして有効的に使っています。

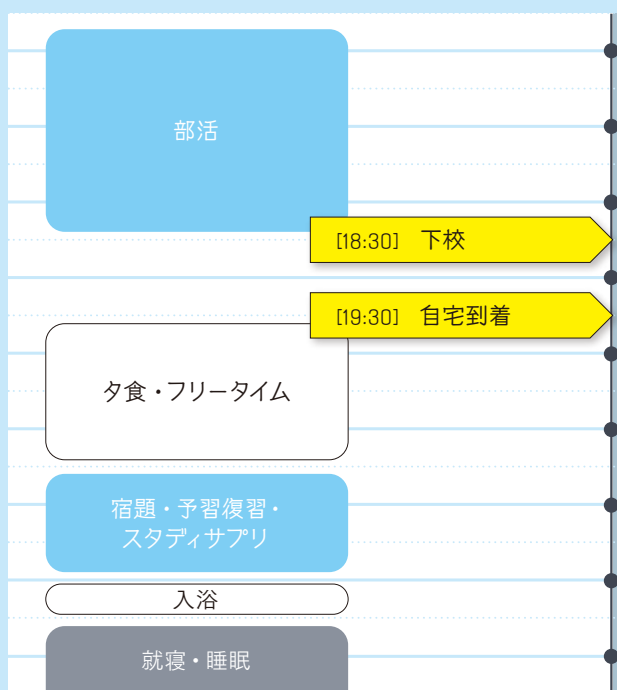
Model case. 2

Model case. 3

高校1年生 女子 空手道部



[8:50 ~ 15:30] During classtime...



私は中学の頃は陸上部に所属していましたが、高校では空手道部に入りました。高校は中学と異なり、毎日朝練があり、放課後も遅くまで練習があるので大変です。しかし、忙しさを言い訳にせず、どうやって勉強時間を作り出すかを常に考えながら毎日を過ごしています。私は将来スポーツドクターになるのが夢です。そのためにこの相洋高校で文武両道に励んでいきたいと思っています。



Model case. 4

高校3年生 男子 和太鼓部



教室で自習



私の夢は、ゲームの開発に携わることです。私には小さな頃から熱中したゲームがあり、いつの日かプレイするだけでなくその制作にも関わってみたいと思うようになりました。まずは数学・理科に全力で取り組み、プログラミングも学んでいます。部活動との両立は難しいですが、疲れていても必ず机に向かい、学校で行われる補習にも必ず参加するようにしています。クラスには良き友人であり、良きライバルである大切な存在がいるので、彼らと競争意識を持ちつつ協力し合うことでお互いを高め合っています。



The Voice

卒業生からのメッセージ

JAXA 研究者

佐藤 光桜さん

私は高校を卒業後、東京理科大学で材料について学び、2021年3月に同大学院の博士課程を卒業しました。今はJAXAで飛行機の材料に関する研究者として働いています。中高時代の私は勉強が苦手でしたが、分からないことをそのままにせず、「知りたい」「解決したい」という好奇心を絶やしませんでした。そして、相洋の先生方はその気持ちに答えて、いつでも親身になって勉強を教えてくださいました。研究者という仕事は、これまで誰も解明していないことを明らかにする仕事です。今でも研究者として「知りたい」「解決したい」という当時の気持ちのまま、新しい研究にチャレンジし



ています。相洋という環境は、苦手なことや新しいことに挑戦する皆さんを

全力で応援してくれます。是非、一緒にチャレンジしましょう！

静岡大学
理学部創造理学コース

刀 称秀 篤さん

私は大学で、地球の仕組みや成り立ちを扱う「地球科学」と「生物学」を中心に理系科目全般を学んでいます。将来にやりたい事がまだ明確でない私は、様々な学問に幅広く触れられ、自身の視野を広げる事ができる学部学科に進学しました。

相洋では、行事の実行委員を積極的に務め、勉学に励む日々を送りました。人前で話すことが苦手でしたが、経験を重ねることで徐々に慣れていき、定期試験や模試で高得点を取るために授業が始まる前に毎朝自習室で勉強する習慣をつけ、予習復習を徹底しました。しかし、私が頑張れたのは周りの同級生や先生方の存在が大



きかったです。テストの点数を競い合い、わからない問題を教え合うライバル。いつも生徒の傍で見守ってくださる先生方。中高の6年間で共に過ごし

たその時間は私にとってかけがえのない宝物です。

中学受験に挑む皆さんも相洋でそんな宝物を見つけてみませんか。

近年の主な合格実績

国公立大学・大学校

筑波大学
弘前大学
静岡大学
神奈川県立保健福祉大学
航空保安大学校
国立看護大学校
防衛医科大学校

私立大学

青山学院大学
神奈川大学
北里大学
慶應義塾大学
国際医療福祉大学
駒澤大学
昭和薬科大学
女子美術大学

成蹊大学
成城大学
洗足学園音楽大学
玉川大学
中央大学
東海大学
東京農業大学
東京薬科大学
東京理科大学

日本大学
日本体育大学
法政大学
星薬科大学
明治大学
明治学院大学
立命館大学
など多数

Announcement of Establishment

施設紹介



- | | | | | | | |
|----------|-------------------------|-----------|----------|---------------|--------|-------|
| ① 1号館 | ② インテリジェントセンター 21 (2号館) | ③ 3号館 | ④ 4号館 | ⑤ 5号館 | ⑥ 6号館 | ⑦ 8号館 |
| ⑧ 体育館 | ⑨ 柔・剣道場 食堂「ウェーブ」 | ⑩ 雨天体育館 | ⑪ 研修会館 | ⑫ 部室棟・トレーニング室 | ⑬ 防災倉庫 | |
| ⑭ テニスコート | ⑮ 上庭グラウンド | ⑯ 中庭グラウンド | ⑰ 相洋ファーム | | | |

Introducing uniforms

制服紹介

中学生 Junior high school



男子：ブレザー／冬ズボン／Ｙシャツ／ネクタイ／ベルト／ローファー
女子：ブレザー／冬スカート or スラックス／Ｙシャツ／ネクタイ／ローファー



男子：夏ズボン／半袖ポロシャツ／ベルト／ローファー
女子：夏スカート／半袖ポロシャツ／ローファー
女子：夏スラックス／半袖Ｙシャツ／ベルト／ローファー

学生生活を支える施設 | ウェーブ（学食）・売店



本校には相模湾を見渡せる食堂「ウェーブ」があります。定番のカレーや麺類、日替わりのアラカルトやランチなど、栄養士が監修したボリューム満点の食事が提供されています。売店では、パンやお弁当に加え、デザート類も用意しています。また文房具や傘も販売しています。お弁当が用意できなかった時や急に必要なものができた時も安心です。

高校生 High school



男子：ブレザー／冬ズボン／Ｙシャツ／ネクタイ／ベルト／ローファー
女子：ブレザー／冬スカート or スラックス／Ｙシャツ／ネクタイ／ローファー



男子：夏ズボン／半袖ポロシャツ／ベルト／ローファー
男子：夏ズボン／半袖Ｙシャツ／ベルト／ローファー
女子：夏スカート or スラックス／半袖ポロシャツ／ローファー
女子：夏スカート or スラックス／半袖Ｙシャツ／ベスト／ローファー

学校長より | 経験が一人ひとりの成長に

相洋中学校校長 渡邊 祐一

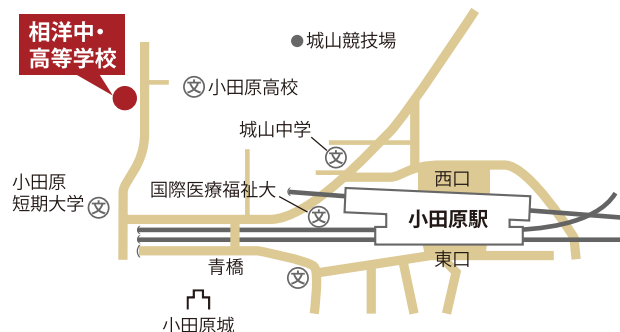
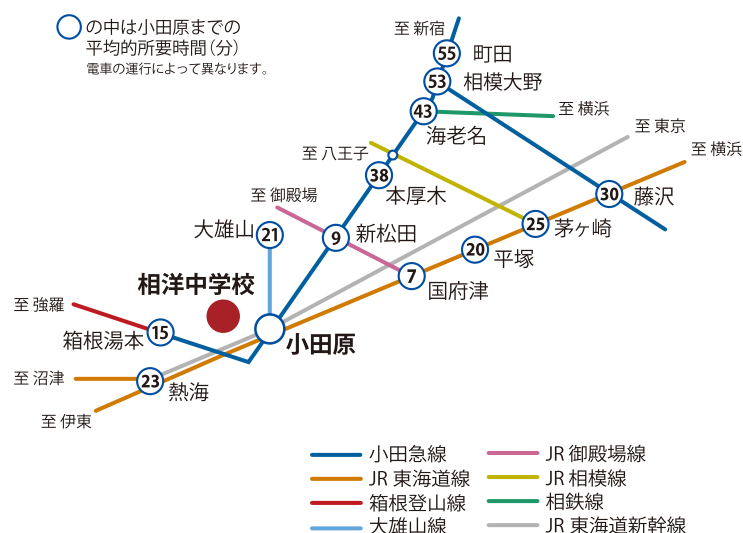
本校が大切にしていることは、人と人のかかわりです。そのために、中高6か年の前半では、普段の学習や様々な行事から多くのことを経験させます。本校は一つ一つの行事において、生徒が主体となって企画・運営し、得手不得手関係なくみんなで取り組みます。したがって、より多くの生徒にチャンスを広げることで、いろいろな経験を積み、多くの人とかかわることができるのです。

入学した時点では様々な地域から生徒が集まるため、生活環境は違っていますが、自分の将来に突き進むゴールは同じです。本校は生徒と教員のかかわりを大切にし、生徒一人ひとりの持っている素質を開花させます。自分の将来を『見つけてもらう』のではなく、6年間で生徒自身が『見つけられるようにする』ことを目標にしています。



SOYO

junior high school



交通＝ＪＲ東海道線・小田急線・箱根登山線・大雄山線、小田原駅下車徒歩15分
※説明会以外にも随時説明を行っておりますので電話予約のうえご来校ください。
(日曜・祝日は除く)



相洋中学校

神奈川県小田原市城山 4-13-33
TEL. 0465(23)0214
FAX. 0465(23)7282
<https://sjh.soyo.ac.jp>

